

岐阜県立飛騨高山高等学校

学校長 神出 建太郎

学校住所 (岡本キャンパス) 高山市下岡本町2000-30
(山田キャンパス) 高山市山田町711

電話 0577-32-5320

電話 0577-33-1060

学校運営協議会 会議実施報告書

このことについて、「岐阜県立学校における学校運営協議会の設置等に関する規則」第8条第1項に基づき、次のとおり学校運営協議会を開催しましたので、その概要について報告します。

1 会議名 令和5年度 飛騨高山高等学校 学校運営協議会 (第3回)

2 開催日時 令和6年1月26日(金) 13:15~14:15
(学習成果発表会見学 9:15~12:20)

3 開催場所 高山市民文化会館 2-5 会議室
(学習成果発表会 高山市民文化会館大ホール)

4 参加者 委員 荒畑 勝之 高山信用金庫 理事 (欠席)
岩佐 喜美子 高山赤十字病院
永瀬 正幸 JA飛騨ミート (欠席)
玉田 明正 岐阜県指導農業士 (欠席)
島谷 和美 自営業(食堂経営) (欠席)
西野 直美 ひだ障がい者総合支援センターぷりずむ
石垣 義則 育友会長(全時制)
下屋 綾乃 育友会長(定時制)
塚本 利幸 部活動後援会長(通信制)
中田 彰 同窓会長

学校側 神出 建太郎 校長
野中 賀雄 副校長(全日制山田キャンパス)
小田 雅人 副校長(定時制) (欠席)
日野 利明 事務部長
藤守 学 教頭(全日制岡本キャンパス)
棚橋 英一 教頭(全日制岡本キャンパス)
島田 正幸 教頭(全日制山田キャンパス)
下嶋 和長 教頭(通信制) (欠席)
岩坂 宗 教諭(全日制岡本キャンパス・教務主任)
砂田 正明 教諭(全日制山田キャンパス・教務主任)
大溝 悠太 教諭(定時制・教務主任)
石地 志奈子 教諭(通信制・教務主任)
水田 奈央生 教諭(全日制岡本キャンパス・生徒指導主事)
柳原 博之 教諭(全日制山田キャンパス・生徒指導主事)
荒川 一弘 教諭(全日制岡本キャンパス・進路指導主事)
穂波 輝樹 教諭(全日制山田キャンパス・進路指導主事)
田中 一幸 教諭(全日制山田キャンパス・農場長)

5 会議の概要

(1) 自己評価の報告及び学校関係者評価

【全日制】

<生徒指導>

- ・遅刻生徒数の減少に向けた取り組み、MS リーダーズによるボランティア活動を行った。また、身だしなみや学校のルールについて生徒自ら判断できるように取り組みを進めた。
- ・1年生を中心として人間関係のトラブルが多くなってきた。コロナで学校行事の多くが実施できなかった世代であり、行事の中で人間関係を構築する機会が少なかったことが原因にあると考えられる。
- ・両キャンパス共に生徒間トラブルなどに対しては教育相談、担任、副担任、スクールカウンセラーなどと連携して対応できた。人間関係構築や個々の問題に対して生徒指導部を中心に進めたい。

<教 務>

- ・教務で一番大事にしているのは、授業で生徒の学力をどう伸ばすかである。ICT の活用も普及し、授業も改善されている。学習評価の仕方が変更となり2年目である。三観点別にどう評価するかを学校全体で取り組んでいる。
- ・授業改善は、公開授業週間や授業評価アンケートを通して行っている。タブレットの扱いは個人管理となり、持ち帰って自分で管理できる体制を整えている。また、外部企業との連携については、本日の学習成果発表会でも出てきたとおりであり、大切な取り組みである。成果と課題は、課題として理解した内容を活用する思考力・判断力について、授業での指導と評価を今後も研修して良いものとしなければいけない。フォントをユニバーサルデザインにしていこうことも次年度の課題の一つである。

<進路指導>

- ・保護者へ対しても進路情報は適切に伝えられている。しかし、生徒は進路に主体的でないという否定的意見が高いので解決していかなければならない。生徒と保護者間での対話が少ない状況なので、解決したい。
- ・進路説明会や模擬面接、医療従事者による語る会などの進路行事については両キャンパス合同で企画し、統一で行った。進路指導規定の改定も全日制として統一を図った。保護者と生徒の情報格差については来年度 ICT を使って生徒の情報や学校の取り組みを保護者へダイレクトに伝えるシステムを導入しようと考えている。

【定時制】

<教 務>

- ・全ての生徒に対して分かる授業を大切にしている。一人の生徒に対して教員が関われるようにした。ICT の活用に関するアンケートの結果は他に比べると低い。来年度は生徒が分かりやすい ICT の活用方法を考えていきたい。

<生徒指導>

- ・定時制は多様な生徒が在籍しているので、綿密な情報共有が必要である。また、近年は生徒が主体となって行事を運営できるように取り組んでいる。
- ・外部機関と連絡を取り合い、協力して適切な支援を実施している。課題としては、コロナもあり、学校へ来るハードルが高くなっており、欠席過多の生徒がいる。ハードルを明確にして、的確な支援をしていきたい。

<進路指導>

- ・進路行事で形だけになっているものがある。一つ一つの行事の意義や目的を確認し精選していかなければいけない。

【通信制】

<教 務>

- ・生徒個々への声掛け支援を丁寧に行った。昨年度、行事の大幅な見直しを行い、今年度は行事

への参加するように促した。これによりレポートの提出が良くなり、学習停滞者が減った。

・今年度は試験的にレポートをデジタルで提出できるようにした。利用者は数名と少なかったが、遠方の生徒や登校できない生徒に知らせたい。今後の課題として、個別の支援を行いながらも協働的な学びの大切さも伝えられるように支援したい。

<生徒指導>

・今年度取り組んだことは日常的、予防的な対応が評価された。今後の課題は、多様な生徒がいるので、生徒に答えを急がせず、待つ姿勢で接する、共感的な傾聴を心掛け、生徒の変化や成長に寄り添った支援を行っていききたい。

・社会へ出ることに不安を抱えている生徒へのサポートを行っていききたい。

<進路指導>

・自己肯定感が低い生徒や複雑な事情を抱えた生徒に自己理解を促し、進路意識を高める支援をしたい。その手段の一つとして、定時制のジョブコミュニケーションを通信でも併修できるように考えていききたい。

(2) 学校へのご意見、ご要望等（学習成果発表会の感想も含む）

意見 1

コロナ禍でできなかったことができるようになり、探究の幅が広がり、発表も良い表情であった。他の生徒の頑張りも見えたかった。聞く側の姿勢も良い。他の学科のコラボや企業との交流も良く、高山の良さを感じ取っている生徒がいることを改めて知った。進学や就職で他へ出ていく生徒も多いが、高山の魅力を他県の友達にも話ができると良い。この発表を通して社会へ貢献できる人材が育つことを願います。

意見 2

学習成果発表会は見ている生徒の姿勢がしっかりしていて良かった。企業などに出向いての学びは、先生の下支えがあってこそである。外との結びつきは大変だが、結果が出ている。身だしなみは社会に出てから大事なことであるが、身だしなみ指導の在り方を確認していただけると有難い。

意見 3

5月から正常に生活できているが、生徒に戸惑いもあり、指導で苦労があったと思う。学習成果発表会では、学習内容が本格的、大人顔負けであり感動した。日頃の指導の賜物であり、感謝したい。

意見 4

学習成果発表会は今年も素晴らしく、学科でのコラボがあり良い試みだった。違う科を見られることも勉強となる。地域や企業の方も生徒に関わり、お互いに得るものがあると感じる。山田キャンパスのチーズが美味しいと評判であり、今後も楽しみ。良いものを作っていると感ずる。

意見 5

学習成果発表会はこれから AI の使い方も絡んでくると思うが、生徒がどのように使っていくのか楽しみである。これを使うことでこれからの産業も生まれてくるのではないかと。

意見 6

学習成果発表会についてはテーマを選ぶにあたって自発的な生徒の思いもあったと思うが、先生の指導・助言の努力が見える。ご苦労様でした。定時制や通信制の生徒にも見てもらいたい。かつては家政科の発表を市民が見に来ていたこともある。発表会をネット配信してみるのも面白いと思う。また、中学生にも見てもらえたら今後の進路選択の際に役に立つのではないかと。今後の課題として、内容を動画で発信したら宣伝・PRになるのではないかと。進路の幅がこれだけあることを中学生に知ってもらえたら。統合 20 周年を迎えるにあたり、記念として木工芸術スクールの生徒さんと一緒にキャンパスごとの演台を作ることになった。材料も学校の百年木や天板を花扇からいただき作製するので見てもらいたい。また、同窓会館は現在クーラ

一が付いていない。記念事業として、クーラーを付けることになった。

(3) 会議のまとめ

来年度に向けて、早速取り組めることは話し合っ取り組んでいきたい。多学科での協働的・横断的な取り組みができるよう、他学科間の理解を深め、連携を深めていきたい。